

(新旧対照表)

資料 1 1

介護サービス事業所調査

| 令和元年度 調査票案   | 平成 28 年度 調査票  |
|--|---|
| <p>回答者条件<br/>事業所管理者<br/>同じ所在地で複数のサービスを提供している場合は異なる事業所とする</p> <p>問1 貴事業所の名称及び所在地(圏域)等を記入してください。<br/>事業所名( )<br/>法人形態(1つに )<br/>1. 社会福祉法人<br/>2. 医療法人<br/>3. 社団法人、財団法人<br/>4. 営利法人(会社)<br/>5. 特定非営利活動法人(NPO 法人)<br/>6. その他( )</p> <p>圏域(1つに )<br/>1. みどり圏域(両国・千歳・緑・立川・菊川・江東橋)<br/>2. 同愛圏域(横網・亀沢・石原・本所・東駒形・吾妻橋)<br/>3. なりひら圏域(錦糸・太平・横川・業平)<br/>4. こうめ圏域(向島・押上)<br/>5. むこうじま圏域(東向島一、二、三、五、六丁目・京島)<br/>6. うめわか圏域(堤通・墨田・東向島四丁目)<br/>7. たちばな圏域(文花・立花)<br/>8. はなみずき圏域(八広・東墨田)</p> <p>記入者(1つに )<br/>1. 事業所の管理者<br/>2. 事業所の役員(管理者以外)<br/>3. 経営部門の担当者(総務・企画・管理・人事等)</p> | <p>回答者条件<br/>事業所管理者<br/>同じ所在地であれば複数のサービスを提供していても同一の事業所とする</p> <p>問1 貴事業所の名称及び所在地(圏域)等を記入してください。<br/>事業所名( )<br/>法人形態(1つに )<br/>1. 社会福祉法人<br/>2. 医療法人<br/>3. 社団法人、財団法人<br/>4. 営利法人(会社)<br/>5. 特定非営利活動法人(NPO 法人)<br/>6. その他( )</p> <p>圏域(1つに )<br/>1. みどり圏域(両国・千歳・緑・立川・菊川・江東橋)<br/>2. 同愛圏域(横網・亀沢・石原・本所・東駒形・吾妻橋)<br/>3. なりひら圏域(錦糸・太平・横川・業平)<br/>4. こうめ圏域(向島・押上)<br/>5. むこうじま圏域(東向島一、二、三、五、六丁目・京島)<br/>6. うめわか圏域(堤通・墨田・東向島四丁目)<br/>7. たちばな圏域(文花・立花)<br/>8. はなみずき圏域(八広・東墨田)</p> <p>記入者(1つに )<br/>1. 事業所の管理者<br/>2. 事業所の役員(管理者以外)<br/>3. 経営部門の担当者(総務・企画・管理・人事等)</p> |

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票  |
|---|---|
| <p>問2 貴事業所が墨田区内で提供しているサービス(予防含む)は次のうちどれですか。(いくつでも )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通所介護(デイサービス)</li> <li>2. 地域密着型通所介護</li> <li>3. 認知症対応型通所介護(デイサービス)</li> <li>4. 通所リハビリテーション(デイケア)</li> <li>5. 訪問介護(ホームヘルプ)</li> <li>6. 夜間対応型訪問介護</li> <li>7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護</li> <li>8. 訪問リハビリテーション</li> <li>9. 訪問看護</li> <li>10. 訪問入浴介護</li> <li>11. 福祉用具貸与</li> <li>12. 短期入所生活介護(ショートステイ)</li> <li>13. 短期入所療養介護</li> <li>14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</li> <li>15. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</li> <li>16. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)</li> <li>17. 地域密着型特定施設入居者生活介護</li> <li>18. 介護老人保健施設</li> <li>19. 小規模多機能型居宅介護</li> <li>20. 看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>21. 居宅介護支援</li> <li>22. 高齢者支援総合センター</li> </ol> | <p>問2 貴事業所が墨田区内で提供しているサービス(予防含む)は次のうちどれですか。(いくつでも )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通所介護(デイサービス)</li> <li>2. 地域密着型通所介護</li> <li>3. 認知症対応型通所介護(デイサービス)</li> <li>4. 通所リハビリテーション(デイケア)</li> <li>5. 訪問介護(ホームヘルプ)</li> <li>6. 夜間対応型訪問介護</li> <li>7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護</li> <li>8. 訪問リハビリテーション</li> <li>9. 訪問看護</li> <li>10. 訪問入浴介護</li> <li>11. 福祉用具貸与</li> <li>12. 短期入所生活介護(ショートステイ)</li> <li>13. 短期入所療養介護</li> <li>14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</li> <li>15. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</li> <li>16. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)</li> <li>17. 地域密着型特定施設入居者生活介護</li> <li>18. 介護老人保健施設</li> <li>19. 小規模多機能型居宅介護</li> <li>20. 看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>21. 居宅介護支援</li> <li>22. 高齢者支援総合センター</li> </ol> |

令和元年度 調査票案

問3 貴事業所の職員について、お答えください。

(1) 貴事業所の職員について、**職種別、常勤・非常勤・派遣職員別に実人数及び常勤換算の人数**を記入してください。(令和元年 月 日時点)

1人が複数の資格を持っている場合は、重複して数えてください。ただし、職員総人数は、実際の職員数と同じになるように記入してください(内訳合計と総人数の一致は不要です)。

|                             | 常勤  | 非常勤   |        | 派遣職員  |        |
|-----------------------------|---|-------|--------|-------|--------|
|                             | (実人数)   | (実人数) | (常勤換算) | (実人数) | (常勤換算) |
| 介護支援専門員                     | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 介護職員                        | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| うち、介護福祉士                    | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| うち、介護職員実務者研修修了者             | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| うち、ホームヘルパー1級・介護職員基礎研修修了者    | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| うち、介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級) | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 社会福祉士                       | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 医師                          | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 看護師・准看護師                    | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 保健師                         | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 薬剤師                         | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士           | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 機能訓練指導員                     | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 管理栄養士・栄養士                   | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 事務職                         | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| その他( )                      | 人   | 人     | 人      | 人     | 人      |
| 職員総人数<br>(実人数)              | 常勤: 墨田区内 _____ 人、墨田区外 _____ 人<br>非常勤: 墨田区内 _____ 人、墨田区外 _____ 人 |       |        |       |        |

平成28年度 調査票

問3 貴事業所の職員について、**職種別、居住地別(墨田区内・区外)、常勤・非常勤別に人数**を記入してください。(平成28年8月1日時点)

1人が複数の資格を持っている場合は、重複して数えてください。ただし、職員総人数は、実際の職員数と同じになるように記入してください(内訳合計と総人数の一致は不要です)。

| 区 分                      | 居住地   |     |      |     |
|--------------------------|---|-----|------|-----|
|                          | 墨田区内  |     | 墨田区外 |     |
|                          | 常勤  | 非常勤 | 常勤   | 非常勤 |
| 介護支援専門員                  |   |     |      |     |
| 介護福祉士                    |   |     |      |     |
| 介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級) |   |     |      |     |
| ホームヘルパー1級・介護職員基礎研修修了者    |   |     |      |     |
| 介護職員実務者研修修了者             |   |     |      |     |
| 介護職(資格なし)                |   |     |      |     |
| 社会福祉士                    |   |     |      |     |
| 医師                       |   |     |      |     |
| 看護師・准看護師                 |   |     |      |     |
| 保健師                      |   |     |      |     |
| 薬剤師                      |   |     |      |     |
| 理学療法士                    |   |     |      |     |
| 作業療法士                    |   |     |      |     |
| 言語聴覚士                    |   |     |      |     |
| 機能訓練指導員                  |   |     |      |     |
| 管理栄養士・栄養士                |   |     |      |     |
| 音楽療法士                    |   |     |      |     |
| あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師          |   |     |      |     |
| 事務職                      |   |     |      |     |
| その他( )                   |   |     |      |     |
| 職員総人数                    | 常勤: 墨田区内 _____ 人、墨田区外 _____ 人<br>非常勤: 墨田区内 _____ 人、墨田区外 _____ 人 |     |      |     |

(2) 貴事業所における外国人の雇用人数について記入してください。(令和元年  
月 日時点)

| 区分                  | 雇用人数 |
|---------------------|------|
| ①経済連携協定（EPA）に基づく外国人 | 人    |
| ②在留資格介護に基づく外国人      | 人    |
| ③外国人技能実習制度に基づく外国人   | 人    |
| ④特定技能1号に基づく外国人      | 人    |
| ⑤外国人留学生             | 人    |

【人材の確保・育成の取り組み状況についておたずねします】

問4 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(いくつか)

1. 第三者評価の実施
2. 専門家、コンサルタントの活用
3. ISO等品質管理に対する認証取得
4. ヒヤリハット、苦情事例等の活用・蓄積
5. 事業所や法人内部での研修・勉強会
6. 手引書の作成と見直し
7. 外部研修会への出席
8. 人材の確保
9. スタッフの資格取得への支援
10. 事業者間の交流
11. 事業者連絡会への出席
12. 利用者やその家族への満足度調査の実施
13. 介護情報の公表
14. 先輩による現場への同行(OJT)
15. その他( )
16. 特に行っていない

【人材の確保・育成の取り組み状況についておたずねします】

問4 貴事業所では、サービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。(いくつか)

1. 第三者評価の実施
2. 専門家、コンサルタントの活用
3. ISO等品質管理に対する認証取得
4. ヒヤリハット、苦情事例等の活用・蓄積
5. 事業所や法人内部での研修・勉強会
6. 手引書の作成と見直し
7. 外部研修会への出席
8. 人材の確保
9. スタッフの資格取得への支援
10. 事業者間の交流
11. 事業者連絡会への出席
12. 利用者やその家族への満足度調査の実施
13. 介護情報の公表
14. 先輩による現場への同行(OJT)
15. その他( )
16. 特に行っていない

| 令和元年度 調査票案   | 平成 28 年度 調査票  |
|--|---|
| <p>問5 職員の過不足状況についてお答えください。(1つに )</p> <p>1. 充足している      問6へ</p> <p>2. やや不足      }      、      へ</p> <p>3. 不足      }</p> <p>4. 大いに不足</p> <p>問5でやや不足、不足、大いに不足と回答した事業所について、職員は何人不足していますか。(1つに )</p> <p>1. 1人</p> <p>2. 2人</p> <p>3. 3人</p> <p>4. 4人</p> <p>5. 5人</p> <p>6. その他(      人)</p> <p>問5でやや不足、不足、大いに不足と回答した事業所について、職員の不足についてはどのように補っていますか。(いくつでも )</p> <p>1. 既存職員の勤務時間を調整して補っている。</p> <p>2. 派遣職員等の人材を活用している。</p> <p>3. 利用者数の制限を行っている。</p> <p>4. その他(      )</p> <p>問6 貴事業所の職員の募集方法について、どのような取り組みを行っていますか。(いくつでも )</p> <p>1. 東京都福祉人材センター</p> <p>2. ハローワーク</p> <p>3. 福祉人材バンク</p> <p>4. 学校(福祉専門学校等)との連携</p> <p>5. 就職説明会への参加</p> <p>6. 広報紙への掲載</p> <p>7. インターネット求人</p> <p>8. 施設内での募集広告</p> <p>9. ホームページの活用</p> <p>10. その他</p> | <p>問5 職員の過不足状況についてお答えください。(1つに )</p> <p>1. 過剰</p> <p>2. 適正</p> <p>3. やや不足</p> <p>4. 不足</p> <p>5. 大いに不足</p> <p>問6 貴事業所では、人材の確保について、どのような取り組みを行っていますか。(いくつでも )</p> <p>1. 新聞広告等への求人募集</p> <p>2. ハローワークへの求人募集</p> <p>3. 大学、専門学校等への求人募集</p> <p>4. 知人等関係者からの紹介</p> <p>5. 他事業者や施設の職員などを勧誘</p> <p>6. その他(      )</p> <p>7. 特に行っていない</p> |

| 令和元年度 調査票案   | 平成 28 年度 調査票  |
|--|---|
| <p>問7 貴事業所において、特に確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護支援専門員</li> <li>2. 介護福祉士</li> <li>3. 訪問介護員</li> <li>4. 介護職(介護福祉士以外)</li> <li>5. 社会福祉士</li> <li>6. 医師</li> <li>7. 看護師・准看護師</li> <li>8. 保健師</li> <li>9. 薬剤師</li> <li>10. 理学療法士</li> <li>11. 作業療法士</li> <li>12. 言語聴覚士</li> <li>13. 機能訓練指導員</li> <li>14. 管理栄養士・栄養士</li> <li>15. 事務職</li> <li>16. その他( )</li> <li>17. 特にない</li> </ol> | <p>問7 貴事業所において、特に確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護支援専門員</li> <li>2. 介護福祉士</li> <li>3. 訪問介護員</li> <li>4. 介護職(資格なし)</li> <li>5. 社会福祉士</li> <li>6. 医師</li> <li>7. 看護師・准看護師</li> <li>8. 保健師</li> <li>9. 薬剤師</li> <li>10. 理学療法士</li> <li>11. 作業療法士</li> <li>12. 言語聴覚士</li> <li>13. 機能訓練指導員</li> <li>14. 管理栄養士・栄養士</li> <li>15. 音楽療法士</li> <li>16. あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師</li> <li>17. 事務職</li> <li>18. その他( )</li> <li>19. 特にない</li> </ol> |

令和元年度 調査票案

問8 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。  
(すでに実施している...1、実施を検討している...2、実施を検討していない...3に )

|                                |   |   |   |
|--------------------------------|---|---|---|
| 採用を前提とした資格取得支援の研修(採用前)         | 1 | 2 | 3 |
| 事業所内での採用時研修(新任研修)              | 1 | 2 | 3 |
| 事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け)       | 1 | 2 | 3 |
| 事業所内での定期的な現任研修の実施              | 1 | 2 | 3 |
| 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会     | 1 | 2 | 3 |
| 墨田区介護サービス事業者連絡会が実施する研修等への参加を奨励 | 1 | 2 | 3 |
| 東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励    | 1 | 2 | 3 |
| その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励       | 1 | 2 | 3 |
| 業務として勤務時間中の研修参加を承認             | 1 | 2 | 3 |
| 研修受講費用の補助                      | 1 | 2 | 3 |
| 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担       | 1 | 2 | 3 |
| 資格試験に合格した場合の報奨金                | 1 | 2 | 3 |
| その他                            |   |   |   |

問9 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも )

1. 人材育成のための時間がない
2. 人材育成のための費用に余裕がない
3. 職員の自己啓発への意欲が低い
4. 事業所内における人材育成の優先順位が低い
5. 指導できる人材が少ない、または、いない
6. 採用時期が別々で効率的な育成ができない
7. 育成してもすぐに辞めてしまう
8. 研修を受講させる人的な余裕がない
9. その他( )
10. 特にない

平成28年度 調査票

問8 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。(いくつでも )

1. 採用を前提とした資格取得支援の研修(採用前)
2. 事業所内での採用時研修(新任研修)
3. 事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け)
4. 事業所内での定期的な現任研修の実施
5. 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会
6. 墨田区介護サービス事業者連絡会が実施する研修等への参加を奨励
7. 東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励
8. その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励
9. 業務として勤務時間中の研修参加を承認
10. 研修受講費用の補助
11. 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担
12. 資格試験に合格した場合の報奨金
13. その他( )
14. 特に行っていない

問9 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも )

1. 人材育成のための時間がない
2. 人材育成のための費用に余裕がない
3. 職員の自己啓発への意欲が低い
4. 事業所内における人材育成の優先順位が低い
5. 指導できる人材が少ない、または、いない
6. 採用時期が別々で効率的な育成ができない
7. 育成してもすぐに辞めてしまう
8. 研修を受講させる人的な余裕がない
9. その他( )
10. 特にない

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票  |
|---|---|
| <p><b>問 10 職員の早期離職防止や定着促進のためにどのような取り組みを行っていますか。(いくつでも )</b></p> <p>(労働時間・勤務負担軽減)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている</li> <li>2. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる</li> <li>3. 年次有給休暇等の取得を促進している</li> </ol> <p>(職員の健康支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる</li> <li>5. 感染症予防対策に取り組んでいる</li> </ol> <p>(いじめ・ハラスメント)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. いじめやハラスメント等へ対応できる体制を整備している</li> <li>7. 職員のメンタルヘルス対策に取り組んでいる</li> </ol> <p>(仕事と子育て・介護等の両立支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 育児・介護等の休暇制度の活用を奨励している</li> <li>9. 子育て支援(託児所を設ける、保育費用の助成など)や介護支援を行っている</li> <li>10. 多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など)を活用している</li> </ol> <p>(キャリア形成支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている(メンター制度など)</li> <li>12. キャリアパスを作成している</li> <li>13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している</li> <li>14. キャリアに応じた給与体系を整備している</li> </ol> <p>(職場風土・環境整備、定着支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくりを行っている</li> <li>16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくりを行っている</li> <li>17. 福利厚生を充実させている</li> </ol> <p>(業務の効率化・負担軽減)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化を推進している</li> <li>19. その他( )</li> <li>20. 特に行っていない</li> </ol> | <p><b>問 10 職員の早期離職防止や定着促進のためにどのような取り組みを行っていますか。(いくつでも )</b></p> <p>(労働時間・勤務負担軽減)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている</li> <li>2. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる</li> <li>3. 年次有給休暇等の取得を促進している</li> </ol> <p>(職員の健康支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる</li> <li>5. 感染症予防対策に取り組んでいる</li> </ol> <p>(いじめ・ハラスメント)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. いじめやハラスメント等へ対応できる体制を整備している</li> <li>7. 職員のメンタルヘルス対策に取り組んでいる</li> </ol> <p>(仕事と子育て・介護等の両立支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 育児・介護等の休暇制度の活用を奨励している</li> <li>9. 子育て支援(託児所を設ける、保育費用の助成など)や介護支援を行っている</li> <li>10. 多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など)を活用している</li> </ol> <p>(キャリア形成支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている(メンター制度など)</li> <li>12. キャリアパスを作成している</li> <li>13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している</li> <li>14. キャリアに応じた給与体系を整備している</li> </ol> <p>(職場風土・環境整備、定着支援)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくりを行っている</li> <li>16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくりを行っている</li> <li>17. 福利厚生を充実させている</li> </ol> <p>(業務の効率化・負担軽減)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化を推進している</li> <li>19. その他( )</li> <li>20. 特に行っていない</li> </ol> |



令和元年度 調査票案

問 11 職員の離職状況等についてお答えください。(令和元年 月 日時点)

(1) 次の職種についての在籍年数別人数をご記入ください。(常勤+非常勤)

| 区 分      | 1年未満 | 1～3年未満 | 3～5年未満 | 5年以上 |
|----------|------|--------|--------|------|
| 介護支援専門員  |      |        |        |      |
| 看護師・准看護師 |      |        |        |      |
| 訪問介護員    |      |        |        |      |
| 理学療法士    |      |        |        |      |
| 作業療法士    |      |        |        |      |

(2) 過去1年間(平成30年 月1日～令和元年 月31日)における次の職種別退職者数(定年退職を除く)をご記入ください。(常勤+非常勤)

| 区 分      | 在籍年数 |        |        |      |
|----------|------|--------|--------|------|
|          | 1年未満 | 1～3年未満 | 3～5年未満 | 5年以上 |
| 介護支援専門員  |      |        |        |      |
| 看護師・准看護師 |      |        |        |      |
| 訪問介護員    |      |        |        |      |
| 理学療法士    |      |        |        |      |
| 作業療法士    |      |        |        |      |

【今後の人材確保・育成についておたずねします】

問 12 貴事業所では、仕事としての介護のイメージアップを図るためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。(1つに )

1. 中学生・高校生に対するボランティア体験やインターンシップの機会を提供
2. 区内企業の退職前の方に対する入門的研修のPRや介護施設などでの職場体験の機会の提供
3. 幼稚園・小中学校のPTAに対する入門的研修のPRや介護施設などでの職場体験の機会の提供
4. 区民向けに介護職員による介護の魅力、やりがいをPRする講演会の実施
5. その他( )

平成28年度 調査票

問 11 職員の離職状況等についてお答えください。(平成28年8月1日時点)

(1) 次の職種についての在籍年数別人数をご記入ください。(常勤+非常勤)

| 区 分      | 1年未満 | 1～5年未満 | 5～10年未満 | 10年以上 |
|----------|------|--------|---------|-------|
| 介護支援専門員  |      |        |         |       |
| 看護師・准看護師 |      |        |         |       |
| 訪問介護員    |      |        |         |       |
| 理学療法士    |      |        |         |       |
| 作業療法士    |      |        |         |       |

(2) 過去1年間(平成27年8月1日～平成28年7月31日)における次の職種別退職者数(定年退職を除く)をご記入ください。(常勤+非常勤)

| 区 分      | 在籍年数 |        |         |       |
|----------|------|--------|---------|-------|
|          | 1年未満 | 1～5年未満 | 5～10年未満 | 10年以上 |
| 介護支援専門員  |      |        |         |       |
| 看護師・准看護師 |      |        |         |       |
| 訪問介護員    |      |        |         |       |
| 理学療法士    |      |        |         |       |
| 作業療法士    |      |        |         |       |

【今後の人材確保・育成についておたずねします】

問 12 貴事業所では、仕事としての介護のイメージアップを図るためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。(3つまでに )

1. 介護職員を中学校・高校に派遣し、介護の仕事の魅力、やりがいをPR
2. 中学生や高校生を対象にした介護の魅力に掲載した冊子の作成・配布
3. 学生の進路選択資料の作成など、介護職場情報の提供を通じた介護の魅力向上
4. 介護の日(11月11日)などにおいて、介護保険サービスや介護の仕事のPR
5. 中学生・高校生を対象に施設等介護の現場の見学会を開催
6. 中学生・高校生を対象にボランティア体験の機会を提供
7. 高校生を対象にした施設等介護の現場での職場体験(インターンシップ)
8. その他( )
9. 特になし

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票   |
|---|--|
| <p><b>問 13 在留資格を取得して働く外国人の雇用を検討していますか。(1つに )</b></p> <p>1. 検討中である</p> <p>2. 今後検討したい</p> <p>3. 検討していない</p> <p><b>問 14 在留資格を取得して働く外国人を雇用する場合に、課題と考える項目を教えてください。(3つまでに )</b></p> <p>1. コミュニケーション(日本語能力)</p> <p>2. 身体介護・生活支援の技術</p> <p>3. 受け入れ制度がわからない(誰に相談すればよいかわからない)</p> <p>4. 育成プログラムが未整備</p> <p>5. 受入コストを捻出できない</p> <p>6. 文化の違いや生活習慣の違い</p> <p>7. その他( )</p> | <p><b>問 13 貴事業所では、今後どのような研修や資格取得支援などに重点的に取り組む予定ですか。(いくつでも )</b></p> <p>1. 採用を前提とした資格取得支援の研修(採用前)</p> <p>2. 事業所内での採用時研修(新任研修)</p> <p>3. 事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け)</p> <p>4. 事業所内での定期的な現任研修の実施</p> <p>5. 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会</p> <p>6. 墨田区介護サービス事業者連絡会が実施する研修等への参加を奨励</p> <p>7. 東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励</p> <p>8. その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励</p> <p>9. 業務として勤務時間中の研修参加を承認</p> <p>10. 研修受講費用の補助</p> <p>11. 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担</p> <p>12. 資格試験に合格した場合の報奨金</p> <p>13. その他( )</p> <p>14. 特に予定はない</p> |

| 令和元年度 調査票案   | 平成28年度 調査票   |
|--|--|
| <p>問 15 採用・求人募集について、墨田区にどのようなことを望みますか。(3つまでに)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都内で合同採用面接会を開催</li> <li>2. 地方で合同採用面接会を開催</li> <li>3. 求人広告費用を助成</li> <li>4. ハローワークへの働きかけ</li> <li>5. 求職フェア等のイベント開催</li> <li>6. 区内事業者の介護求人情報システムを構築</li> <li>7. 介護に関する資格取得のための研修等に要する受講費用を助成</li> <li>8. その他( )</li> <li>9. 特になし</li> </ol> | <p>問 14 採用・求人募集について、墨田区にどのようなことを望みますか。(3つまでに)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都内で合同採用面接会を開催</li> <li>2. 地方で合同採用面接会を開催</li> <li>3. 求人広告費用を助成</li> <li>4. ハローワークへの働きかけ</li> <li>5. 求職フェア等のイベント開催</li> <li>6. 区内事業者の介護求人情報システムを構築</li> <li>7. 介護の仕事に興味を持つ人の介護初任者研修の受講費用を助成</li> <li>8. その他( )</li> <li>9. 特になし</li> </ol> <p>問 15 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、もし墨田区が住まいへの支援を行うとした場合、以下の(1)及び(2)について貴事業所のお考えをお教えてください。</p> <p>(1)区所有住宅の提供(1つに )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 単身世帯向け住戸を提供する</li> <li>2. ファミリー世帯向け住戸を提供する</li> <li>3. 単身向けとファミリー向けをバランスよく提供する</li> <li>4. 区所有住宅を提供しなくてよい</li> </ol> <p>(2)民間賃貸住宅の家賃助成(1つに )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助成額を少なくして(月額2～3万円程度)、対象者を増やす</li> <li>2. 対象者を限定して、助成額を高くする(月額5～6万円程度)</li> <li>3. 一概にはいえない</li> <li>4. 民間賃貸住宅の家賃助成はしなくてよい</li> </ol> |

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票   |
|---|--|
| <p><b>問 16 キャリアアップや人材育成、モチベーション継続のため、どのような支援を望みますか。(2つまでに )</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 区が主催する研修会(実習含む)等を定期的で開催してほしい。</li> <li>2. 研修時の代替職員確保の支援がほしい。</li> <li>3. 事業所間での情報共有や交流イベントなどを区が主催してほしい。</li> <li>4. 保育園に優先的に入園可能にしてほしい。</li> <li>5. 民間賃貸住宅の家賃助成制度を広く支援してほしい。</li> <li>6. その他( )</li> </ol> <p><b>問 17 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、必要と考えられる支援策は何ですか。(いくつでも )</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離職率改善事例や潜在的有資格者が職場復帰した事例の紹介</li> <li>2. 福利厚生 の充実支援</li> <li>3. 処遇改善のための助成</li> <li>4. ICT等や介護ロボットの活用支援(業務の効率化、利用者情報の共有、医療連携、介護連携など)</li> <li>5. 区独自の奨学金の導入</li> <li>6. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口の設置</li> <li>7. 資格を必要としない生活支援の担い手(区民)の育成</li> <li>8. 人材育成や研修の専門家の派遣</li> <li>9. 人材育成や処遇改善の取り組みについて優秀な事業者への表彰</li> <li>10. その他( )</li> </ol> | <p><b>問 16 前述した以外で、人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、必要と考えられる支援策は何ですか。(いくつでも )</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離職率改善事例の紹介</li> <li>2. 離職した介護従事者などの潜在的有資格者が職場復帰した事例の紹介</li> <li>3. 福利厚生 の充実支援</li> <li>4. 処遇改善のための助成</li> <li>5. ICT等の活用支援(業務の効率化、利用者情報の共有、医療連携、介護連携など)</li> <li>6. 研修時の代替職員確保の支援</li> <li>7. 区独自の奨学金の導入</li> <li>8. 退職金や企業年金など各種諸手当の助成</li> <li>9. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口の設置</li> <li>10. 介護ロボットの活用支援</li> <li>11. 資格を必要としない生活支援の担い手(区民)の育成</li> <li>12. 人材育成や研修の専門家の派遣</li> <li>13. 人材育成や処遇改善の取り組みについて優秀な事業者への表彰</li> <li>14. その他( )</li> </ol> <p><b>問 17 問 16 の回答について具体的な内容をお教えてください。</b><br/>自由記載</p> |

**問 18 ICTや先進的介護機器の導入状況を教えてください。**  
**(すでに導入している...1、導入を検討している...2、導入を検討していない...3に○)**  
 1項目でも「3」に○がついた場合 問19へ  
 1項目も「3」に○がつかなかった場合 問20へ

|     |                             |   |   |   |
|-----|-----------------------------|---|---|---|
| 事務系 | タブレット導入等による現場における記録支援技術     | 1 | 2 | 3 |
|     | 報告や引継ぎなどの文書作成支援技術           | 1 | 2 | 3 |
|     | ICタグ等による物品購入効率化技術           | 1 | 2 | 3 |
|     | 請求業務等の事務効率化技術               | 1 | 2 | 3 |
|     | 医療介護連携ソフト等を用いた連携技術          | 1 | 2 | 3 |
| 技術系 | 移乗介助機器(パワースーツや移乗アシストロボットなど) | 1 | 2 | 3 |
|     | 移動支援機器(アシスト歩行支援機器など)        | 1 | 2 | 3 |
|     | 見守り支援機器(睡眠、バイタル、危険姿勢など検知機能) | 1 | 2 | 3 |

**問 19 問 18 で、「 3 . 実施を検討していない」に一つでも○をつけた事業所におたずねします。ICT等の導入を検討していない主な理由は何ですか。**  
**( 1 つに )**

1. 導入費用が高額すぎる。
2. 導入しても業務量の軽減が見込めない。
3. 導入しても人件費の削減につながらない。
4. 費用対効果が分からない。
5. 導入にあたり何から始めればいいのか分からない。
6. その他( )

**【医療と介護の連携についてお伺いします】**

**問 20 区内の在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議やカンファレンス等を通じて連携していると思いますか。( 1 つに )**

- |  |   |                     |
|--|---|---------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 十分連携していると思う</li> <li>2. ある程度連携していると思う</li> <li>3. 連携が不十分であると思う</li> <li>4. ほとんど連携していないと思う</li> </ol> | } | 問 21 へ<br><br><br>へ |
|--|---|---------------------|

**問 20 で「 3 」又は「 4 」とお答えの事業所におたずねします**  
**そのように思う理由は何ですか。( 3 つまでに )**

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票 |
|---|--------------|
| <p>1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない</p> <p>2. お互いに多忙で連絡が取れない</p> <p>3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない</p> <p>4. 交流の場がない</p> <p>5. 誰と連絡を取ればよいのかわからない</p> <p>6. 医学知識や医療制度がわからない</p> <p>7. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している</p> <p>8. その他(具体的 )</p> <p><b>【災害への備えについてお伺いします】</b></p> <p><b>問 21 大規模災害が発生した際の備えとして、事業者としての計画や方針(BCP含む)を策定していますか。(1つに )</b></p> <p>1. 策定している</p> <p>2. 今後策定する予定である</p> <p>3. 策定する予定はない</p> <p>4. わからない</p> <p><b>問 22 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも )</b></p> <p>1. 自治会・町会と防災協定を結んでいる</p> <p>2. 自治会・町会と合同で避難訓練を行っている</p> <p>3. 地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている</p> <p>4. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている</p> <p>5. 事業所の利用者だけでなく、地域のためにも備蓄をしている</p> <p>6. その他(具体的に: )</p> <p><b>【ハラスメント対策についてお伺いします】</b></p> <p><b>問 23 職員による利用者への虐待やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(いくつでも )</b></p> <p>1. 研修などへの参加を促すとともに、研修参加者の情報を全職員に展開している</p> <p>2. ミーティング時に虐待防止マニュアル等を全職員で確認している</p> <p>3. 講師を招いて、研修を行うなど全職員への啓発活動をおこなっている</p> <p>4. 他施設での事例等を職員間で分析し、要因について共有する研修を行っている</p> |              |

| 令和元年度 調査票案  | 平成 28 年度 調査票   |
|---|--|
| <p>5. 職員のストレス状況を把握し、未然防止に役立っている</p> <p>6. 気軽に相談ができる窓口を整えている</p> <p>7. その他( )</p> <p><b>問 24 利用者による職員への暴力やハラスメントを防止するため、どのような工夫を行っていますか。(いくつでも )</b></p> <p>1. 契約条項などにハラスメントに対する対処方法等を明記・説明し、未然防止に努めている</p> <p>2. 複数人対応を基本としている</p> <p>3. 日々の声かけなど小さな変化をとらえ情報を共有できる環境を整えている</p> <p>4. 非常通報機能を有するベルや笛等、周囲に知らせる機器等を携行している</p> <p>5. 暴力やハラスメントがあった場合は、施設として対応できる環境を整えている</p> <p>6. 気軽に相談できる窓口を整えている</p> <p>7. その他( )</p> <p><b>【その他】</b></p> <p><b>問 25 墨田区の介護人材確保を目的とした助成事業(介護職員初任者研修受講料の助成事業・実務者研修受講料の助成事業・介護福祉士資格取得支援助成事業)をご存じですか。(1つに )</b><br/>各事業の詳細については、墨田区HPをご覧ください。</p> <p>1. 知っている</p> <p>2. はじめて知った</p> <p><b>問 26 区主催事業者向けの研修について、希望するテーマがあれば教えてください。</b><br/>自由記載</p> <p><b>問 27 最後に、墨田区の高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。</b></p> | <p><b>問 18 最後に、墨田区の高齢者福祉や介護保険について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。記入欄が不足する場合は、別紙(様式自由)にご記入のうえ、一緒にご返送してください。</b></p> |